

〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	2節8項	地域防災計画の整備
担当課・係名	都市整備課 建築指導係【問合せ・質問等の先（内線番号） 317番】			

業務の名称	木造住宅耐震診断業務						
(1) 根拠法令・条例	長久手町木造住宅無料耐震診断員派遣要領						
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>4.1</u> % (係の総業務量を100%とする) ----- 職員延人数： <u>22</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u> </u> 人・日)						
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>2,190</u> 千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))						
(4) 補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>75</u> % (平成19年度実績)						
(5) 業務期間	開始した年度	14年度	終了(予定)年度	26年度			
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)							
①業務目的 (達成目標)	地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止するため。						
②業務が対象とする住民 (地域、層)	昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅(在来軸組構法)を所有している人。						
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成19年度実績)	町の広報などで啓発を行い、今年度は73件耐震診断を行った。						
④業務の実施結果 (平成19年度実績)	広報を年2回行っている。						
	【業務結果の説明指標】						
		結果の説明指標	17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標
1	診断戸数		53戸	20戸	73戸	77戸	900戸
2							
3							
4							
5							
⑤業務の成果 (業務目的の達成状況) (平成19年度実績)	着実に診断を進めながら、災害時の倒壊家屋の減少に寄与できた。						
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】						
		成果の説明指標	17年度	18年度	19年度実績	20年度目標	将来目標
1	診断戸数の割合		52%	54%	62%	71%	100%
2							
3							
4							
5							

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

目標の到達戸数が達成できた（14年から19年度まで561戸）ので、今後は、目標戸数を上げ、安全な町づくりを行っていききたい。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

診断対象者にダイレクトメールを実施し、診断を促進する事を行った。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3点
		平均 3.3点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<p>① 前年度と同じく、そのまま継続する。</p> <p>2. 見直して継続（業務の拡大）</p> <p>3. 見直して継続（業務の縮小）</p> <p>4. 見直して継続（方法の改善）</p> <p>5. 見直して継続（他業務と統合）</p> <p>6. 廃止する。</p> <p>7. 休止する。</p>
②評価理由	前年度と比べ大きく診断件数が上がったため。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

非木造（共同住宅）での耐震診断等をアピールし、本町での耐震計画を推進していききたい。